

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2021 年度第 5 回事業普及委員会議事録

- I. 日 時： 令和 3 年 1 月 1 6 日（火）18：00～20：00
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員(すべてネット出席)
(事務局：井端事務局長、中村)
- III. 検討内容
コロナ感染防止のため引き続き、ネットによる委員会として開催した。

1. 2021 年度機関誌 No.3（12 月号）の企画について

① 巻頭言は、立命館大学の仲谷義男学長に依頼することにした。

② 特集は、教育再生実行会議(第十二次提言)が、ポストコロナ期における新たな学びの在り方を考えるに当たっては、学生一人ひとりが他者や社会の問題に関心を寄せ、自ら主体的に考え、行動がとれるようになることが大切で、教育をより一層学生主体の視点に転換するとともに、オンライン授業などのデジタル化の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を適切に進めていくことが必要としていることに注目し、テーマを「学修者本位の教育、質の向上を目指した大学教育の DX 構想」として、文部科学省が「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択した 54 事業の中から大学教育の DX 推進を計画し、実現に向けて着実に行動を開始した大学等の取組みを No.3 と次号に亘り取り上げることにした。教育環境にデジタルを大胆に取り入れることで、大学等のデジタルトランスフォーメーション(DX)を迅速かつ強力に推進することで、「学修者本位の教育の実現」、「学びの質の向上」に資する環境整備の取組みなどを紹介する。

掲載依頼原稿は、以下の通りとし、依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・「LMS の高度化と学習データ統合システムによる学修者本位の教育の実現」(仮題)
神戸大学 情報基盤センター 殷 成久 氏
 - ・「学習の PDCA サイクルを促進する教学データを用いた個別最適化フィードバックシステムの開発と教育環境整備」(仮題)
東京理科大学 副学長 井手本 康 氏
 - ・「ジブンの学びをデザインできる AI 支援型 LMS の実現」(仮題)
山口大学 理事・副学長 松野浩嗣 氏
「デジタル技術を活用した『知の伝授と技の伝承による智の育成』」(仮題)
山口大学 共同獣医学部 学部長 佐藤晃一 氏
 - ・「DX による教育の個別最適化と教育効果の可視化」(仮題)
岡山大学 大学院教育学研究科教授 寺澤孝文 氏
 - ・「学生の気づきと主体的な学びを促進するデータ駆動型教育の実現」(仮題)
京都産業大学 学長室課長 奥村靖之 氏
 - ・「ティーメイト教育の実現を目指した DX 推進に係る統合型基幹システムの構築」(仮題)
女子栄養大学 赤井昭二 氏
 - ・「小規模女子大学における『ブレンド型授業モデル』」の創出～『つまづき経験』で『前向き』を涵養する個別最適化プラン～」(仮題)
京都ノートルダム女子大学 ND 教育センター
 - ・「学修過程・成果の可視化を目的とした医療系の学びにおける DX 推進」(仮題)
東京医療保健大学
 - ・「統合教育情報基盤の構築に向けた LMS の導入と Learning AnaLytics による医学教育の高度化」(仮題)
東京女子医科大学 佐藤 梓 氏
 - ・「LA、AI による学生に寄り添ったフィードバックが可能な総合的オンライン学修環境の高度化」(仮題)
熊本大学 数理科学総合教育センター長 宇佐川 毅 氏
 - ・「社会変化に対応する未来型次世代教育の実現～クロスリアリティを活用したデジタルトランスフォーメーションによる教育改革～」(仮題)
熊本大学 副学長 前田ひとみ 氏
- ③ 大学の組織的な取組みは、「立命館大学で推進している DX～最先端の技術を身近に感じてもらえるキャンパス～」をテーマに立命館大学における取組みを紹介してもらうことにした。
- ④ 「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。
- ・令和 3 年度行事日程・加盟校の特典
 - ・公益社団法人 私立大学情報教育協会とは
- ⑤ 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・ICT を活用した分野別教育改善モデルの紹介
- ・私情協 教育イノベーション大会開催報告
- ・短期大学教育改革 ICT 戦略会議 開催報告
- ・2021 年度 ICT 利用による教育改善研究発表会 開催報告
- ・大学職員情報化研究講習会(基礎講習コース) 開催要項

⑥ 「賛助会員だより」は、I n f o b l o x 株式会社を掲載することを確認した。

2. その他（次回の日程について）

次回は2021年度No.3(12月号)の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、12月27日(月)16時より、引き続きネット(ZOOM会議)にて開催することとした。